

③ 山吹サロン・K

豊橋市飽海町には昔から、近所の人が集まってお茶やおしゃべりを楽しむ「おひまち」という習慣がある。「山吹サロン・K」は現代の「おひまち」だ。

主催するのは鈴木敬子さん(65)。きっかけは息子夫婦が働きに出て、昼間は一人になるお婆あさんが心配と相談を受けたことから、高齢者に自宅を開放して運営しようと

毎月第2水曜日と月1回日曜日に開催。

豊橋市で個人宅を開

放して居場所づくり

が行われた第一号で

もある。

参加者は入り口で

名前を書き、参加費

200円(お茶・茶

菓子代)、昼食が必要

な人は番号を〇で囲

み、500円を箱に入れてる。

簿に、鈴木さんが感想を書き込み活動日

記になっている。今日

は一日寒かった。〇さんが風邪も治り

自由に気軽にほのぼのとした「居場所」

そのお金で鈴木さんたちが近くのスーパーへ弁当を買いに行き、それをみんなで食べ、話をしながら憩いのひと時を過ごす。

2015年9月に始まり、今年で3年目。毎回の参加者名

でも心配していた〇

さんも風邪も治り

おたがいさまの
まちづくり



気軽に楽しく過ごす「山吹サロン・K」

元気に来てくれたので楽しい集いになった。「近くでマラソンがあり、みんな応援に行った。元気な選手の姿に元気をもらった」など、ほのぼのとした活動が綴られている。

常連の朝倉昌子さん(81)は「昼間は一人なので、誰とも話さないで過ごすのは苦痛。ここへ来られて楽しい」。

「サロン・Kは自

由に入りやすく、気軽に来られるのがい」と話す矢沢正孝さん(81)。下条地区から車で来る伊藤美佐子さん(68)は介護福祉士の資格もあり、手伝う立場で参加者の健康状態に気を使う。

「サロン・K」の設立から関わってきた地域包括支援センターの長屋由紀子さん(70)。「自分の家を使って身近な居場所を提供している活動は素晴らしい」と絶賛する。

※次回は25日掲載予定